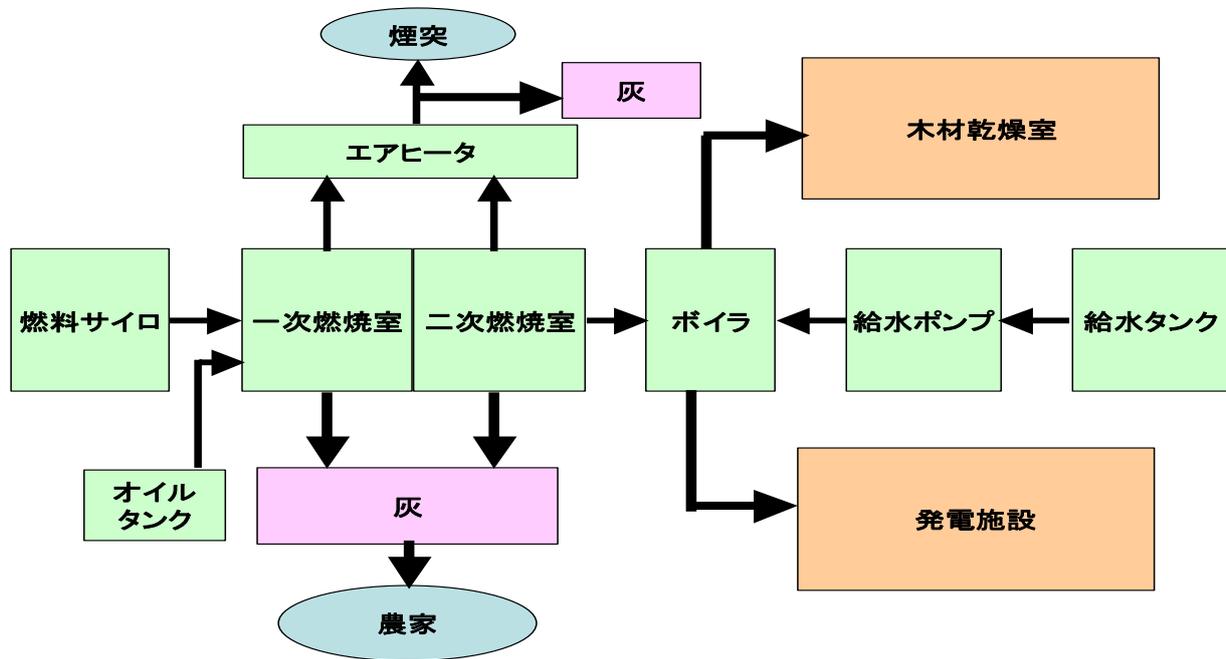


| | | | |
|--------|--------------------------------------|-------|-----------------|
| 所在 | 宮崎県都城市丸谷町4708-1 | 事業主体 | 都城地区プレカット事業協同組合 |
| 問い合わせ先 | TEL:0986-36-0755 FAX:0986-36-0757 | 見学 | 可(事前申込み) |
| 施設名 | 木質バイオマス発電施設 木質資源利用ボイラー施設 | 運転開始年 | 2004年 |
| 出資比率 | 国50%、県4.5% 自社45.5% | 原料 | 木質(木屑・製材残材) |
| 利用法 | 発電(所内利用) 発生熱(所内利用) | 原料調達費 | 有償 |

システムフロー
(フロー図)



システムフロー
(施設全景)



| | |
|-------------------|--|
| 施設仕様 | 木質資源利用ボイラー施設: 5tボイラー、蒸気5t/h、焼却温度800度 木質バイオマス発電施設: 電力発生70~80kW/1時間 |
| 運転状況 | 木質チップ処理量9,900t、実績稼働日数330日、 発電(70~80kW/h)には最低3~5t/hの蒸気出力が必要だが、原料のチップが不安定 である為、安定した発電は難しい状況である |
| コスト (イニシャルコスト) | 施設建設費: 181,860千円 財源: 国庫補助金86,600千円(50%)、県補助金7,668千円(4.5%) 政策投資銀行から借入れ85,000千円、自己資金2,592千円 |
| コスト (ランニングコスト) | 人件費20%、燃料費40%、修繕費3%、軟水生成7%、減価償却その他30% |
| 事業開始の背景 | 地球温暖化対策、環境対策、木質バイオマスの利活用 |
| 効果 | 重油1,815,000ℓ、年間9,900万円(60円/ℓ)の削減 |
| 施設運営上の課題 | 原料調達システムの改善 |